



「春の法要」縁儀に参列した

講社「響流」の 外国人メンバー



海外の僧侶・門信徒や寺院との国際交流を図る講社「響流」

の講員として、立教開宗記念法要の縁儀に参列した（写真右から）ネパール開教地の僧侶、ラマ・スニタさん(37)、ハワイ開教区の僧侶、清原ケリー幸夫さん(57)と妻のミミさん(61)。

中央仏教学院での学びを終えて帰国前最後の法要参拝となったケリーさんは「日本でお念仏を心から喜んでおられるご門徒の姿に触れ、心に『支え』を持つことの大切さをあらためて教わった。たくさんのお会いがあって、『響流』は念仏者としてこれからどう歩むかを教えてくれた」、同学院研究科で学ぶため10年ぶりに留学したスニタさんは「ネパールではできない貴重な体験。これからはいろいろな法要に参拝したい」と話し、3人は袈裟かすしよと黒留袖とめぎてのお互いの姿を見ながらニッコリほほ笑んだ。（3面に記事）